

立法・破防法粉碎大行動へ!

6・15

六・一二前夜集会(日比谷公会堂)に

総結集せよ

革命的共産主義者同盟
 マルクス主義学生同盟中核派
 マルクス主義青年労働者同盟

四・二八沖繩闘争は沖繩奪還の火柱を日本列島にふきあげ、七〇年安保闘争の本格的突破口をきりひらいた。佐藤政府の侵略と暗黒政治への道に屈服するのか、それともベトナム参戦国化と警察国家への道を粉碎し労働者人民の未来を切り拓くのか——この七〇年をめぐる歴史的選択をめぐる政治的対決のときがきたのだ。

六・一二前夜集会、六・一五大統一行動に総結集せよ!

この七〇年にむかう闘いの爆発に恐怖した日本帝国主義は、十・一二新宿闘争に騒乱罪を適用し四・二八には破防法を適用して狂気の弾圧を強め、学生運動の壊滅を狙って大学治安立法を上程した。まさにこうした七〇年をめぐる政治的対決の火中で最後の六・一五集会が開かれる。六〇年の教訓を深め、のりこえ、七〇年闘争勝利にむかっただの総決起として、十万人をこえる労働者、学生、市民の総力をもって日比谷公園をうめ尽し、国会と首都を揺がす大衆的戦闘的デモをもって大学立法・破防法を粉碎し、十一月佐藤訪米を不可能にし、七〇年闘争勝利にむかっただ、今こそ進撃する時だ。

安保6・15記念前夜集会

とき 六月十三日(金) ところ 日比谷公会堂

第一部 挨拶と訴え

六・一五救済会 古田 晃
 樺美智子母堂 樺 光子
 山崎博昭同志長兄 山崎健夫
 弁護士団

第二部 記念講演、怒濤の進撃、六〇年から七〇年へ

血路を拓く学生運動…… ……全学連副委員長 水谷保孝
 本隊としての労働者の決意……長船社研
 歴史選択としての七〇年闘争……北小路敏

メッセージ 革共同書記長本多延嘉 東京地区反戦世話人藤原慶久

主催 革命的共産主義者同盟、マルクス主義青年労働者同盟、
 マルクス主義学生同盟、中核派

6・15大統一行動

六月十五日(日) 午後一時、日比谷野外音楽堂

主催 実行委員会、